



石郷岡 純

CNS 薬理研究所

睡眠研究は、PSG をはじめとする強力な手法を用いて発展してきましたが、一方では病態解明の比重が大きかったという側面があります。

しかし、最近の研究に対する社会的要請の変化に伴い、研究のテーマや方法論に新たな領域が広がってきています。これは、睡眠学にとどまらず、他の医学領域全般で見られる動向です。

本講演では、こうした動向を紹介するとともに、新しい睡眠研究者像についても触れてみたいと思います。